

# 日本消防



- 日中韓消防協会会議
- ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」出演者紹介
- 「消防団応援の店」現地ルポ

□ 絵 日中韓消防協会会議 H26.7.16 (水) 於 北京市広西大廈  
ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」好評放送中! (公財) 日本消防協会

|                                       |                       |          |    |
|---------------------------------------|-----------------------|----------|----|
| 巻頭言「消防団応援事業所制度の推進」                    | (一財) 岐阜県消防協会          | 会長 橋本 利弘 | 1  |
| 日消の動き「現代日本消防50年」                      | (公財) 日本消防協会           | 会長 秋本 敏文 | 3  |
| 日中韓消防協会会議について                         | (公財) 日本消防協会           |          | 4  |
| 平成26年度 消防功労者総務大臣表彰                    | 総務省 消防庁               |          | 5  |
| 平成26年度地震等防災対策委員会現地調査(東京都大島町)報告        | (公財) 日本消防協会           |          | 6  |
| ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」出演者紹介            | (公財) 日本消防協会           |          | 8  |
| 「消防団応援の店」現地ルポ 山形県上山市消防団「消防団応援の店」を訪ねて  |                       |          |    |
| 赤羽消防団 副団長 小澤 浩子                       |                       |          | 12 |
| 「大規模林野火災を経験して」                        | 盛岡市消防団 団長 藤澤 良悦       |          | 17 |
| 特別表彰「まとい」を受章して「地域の安心・安全を」             | 御殿場市消防団 団長 勝亦 修治      |          | 20 |
| 特別表彰「まとい」を受章して「誇りを胸に」                 | 野洲市消防団 団長 小山 義弘       |          | 22 |
| 東西南北(熊本県)「愛・魂・絆 心は1つ」                 | 宇城市消防団 団長 中塘 万格人      |          | 24 |
| 東西南北(愛知県)「地域一体となり減災を目指す」              | 田原市消防団 団長 瓜生 陽一       |          | 26 |
| 東西南北(京都府)「地域の防災リーダーとして」               | 大山崎町消防団 団長 田所 隆司      |          | 28 |
| シンフォニー(栃木県)「できることからこつこつと」             | 宇都宮市消防団第8分団 副部長 飯田 恵子 |          | 30 |
| 「平成26年度消防育英会奨学生懇談会」を開催しました            | (公財) 消防育英会            |          | 32 |
| 第28回中国消防視察について                        | (公財) 日本消防協会           |          | 34 |
| 消防団の危険予知訓練(S-KYT)～より安全な消防団活動のために～     | 消防団員等公務災害補償等共済基金      |          | 36 |
| 第24回全国消防操法大会 記念Tシャツ販売                 |                       |          | 38 |
| 防災訓練に参加しましょう ～災害に備え、防災知識の向上をめざす～      | 消防庁 防災課               |          | 39 |
| 台風に対する備え                              | 消防庁 防災課               |          | 40 |
| 消防団員に対する「サイコロジカルファーストエイド(PFA)」取得研修を実施 | 奈良市消防団 団長 川崎 政信       |          | 41 |
| 「視察研修を実施」                             | 桐生市消防団 団長 田代 勲        |          | 42 |
| うちの名物団員                               |                       |          | 44 |
| 消防団の広場(福島県)「地域の「安全・安心」を目指す塙町消防団」      | 塙町消防団 団長 木田 廣明        |          | 46 |

編集後記

### 表紙写真説明

「スバリゾートハワイアンズ ダンシングチーム『フラガール』」

昭和40年、閉山の危機にあった炭鉱町を、フラダンスにより救ったフラガール。

平成18年に公開された映画「フラガール」は、そんな彼女たちの感動の物語でした。

そして今、大震災、原発事故及び風評被害からの一日も早い復旧復興を願う県民のため、福島県のPRに奔走し、県民に勇気を与え続けています。

(福島県いわき市)

# 日中韓消防協會會議

平成26年7月16日（水） 於 北京市広西大廈



# ラジオ番組 「おはよう！ニッポン全国消防団」 好評放送中！

(公財) 日本消防協会



5月放送分に出演の  
ガッツ石松さん (左)

山本剛士ニッポン放送アナウ  
ンサー (右)

6月放送分に出演の  
美川憲一さん (左)



7月放送分に出演の  
有森裕子さん (左)



## 「消防団応援事業所制度の推進」

一般財団法人岐阜県消防協会 会長 橋本 利弘



岐阜県は、廃藩置県によって設置された美濃国である笠松、苗木、野村、郡上、高富、岩村及び今尾の9県が明治4年11月に統合され、その後、明治9年に筑摩県（長野県）から高山県であった飛騨3郡（現在の高山市を含む飛騨地区）が編入された後、平成17年に長野県から山口村（馬籠地区等）が編入され、総面積が約10,600平方キロメートル（全国第7位）の現在の姿となりました。

市町村数は、明治の大合併、昭和の大合併により明治22年の948市町村から昭和36年には105市町村と大幅に減少しました。そして、平成に入り、合併特例法によって更に合併が進み、平成18年3月27日から21市19町2村の42市町村となっています。

本県の消防団は、市町村合併の変遷とともに44団となり、平成25年10月1日現在で20,943名（うち、女性374名）の消防団員が活動していますが、消防団員数は関係者の努力にもかかわらず減少傾向にあり、10年前と比較して923名の減少となっています。

こうした消防団員の減少傾向を食い止めるため、県内の市町村や地域では、消防団を応援する消防団サポートプロジェクトが開始されました。このプロジェクトは、消防団員に対し地域の店舗等が各種割引やポ

イント付加等のサービスを行うもので、団員確保対策とともに消費拡大による地域経済の活性化を目的として、平成23年度から3市1地域（2市8町村）でスタートしました。サポート（サービス）内容や協力事業所の確保は、それぞれに企画・開発して、独自のサービスを展開しており、2市8町村を管轄する県の中濃振興局では、消防団とその活動を陰で支える家族を地域で応援し、地域住民としての消防団員の消費拡大による域内経済の活性化を目的として消防団応援制度をスタートしました。その特徴として、団員と家族1名に団員又はその家族であることを証明するステッカーを配布し、それを提示することによりサービスを受けるのですが、このステッカーは携帯電話等に貼付できるもので、退団後も返却することなく使用できるところが大きな特徴となっています。また、関市、本巣市、高山市では、市内の商店街や公共施設の協力により消防団応援事業を展開していますが、サービス内容の充実のために消防団長さんはじめ関係者の皆さんが粘り強く一軒一軒の店舗と交渉し、大きなサービス確保に成果を上げています。このように、消防団を応援しようとする気運は徐々に高まってきているのですが、サービス対象が地域限定のために他地域の消防団員は活用でき

ないことや、大規模小売店舗・コンビニ等大手企業は広い範囲での消費者を対象として営業をしているため、一部地域の消防団員だけにサービスを提供することには抵抗があり協力を確保することが困難な状態がありました。また、協力事業所が増えることにより、協力事業所の所在地やサービス内容等の基本データの管理及びそのデータの更新や情報提供の方法など消防団応援事業の運営、管理の面においても課題が出てきました。



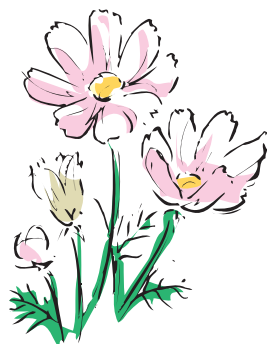
応援事業所表示証

こうした背景のもとに、岐阜県では、平成26年度から「ありがとね! 消防団水防団応援事業所制度」として、県と消防協会、水防協会が相互に協力して、消防団員、水防団員に対してインセンティブ制度を実施することとしました。この制度は、岐阜県内の企業及び店舗等に消防団水防団応援事業所として登録してもらい、団員及びその家族への割引等のサービスを県下一円で実施するもので、団員には住民が応援していることを実感してもらうとともに、地域全体で消防団を応援する気運を高め、団員の士気高揚とともに団員確保に資することを目的としています。

この制度は、本年8月からスタートしま

すが、応援事業所の拡大がこの事業の成否のカギを握ることとなります。県下一円の消防団員が対象となることから、一部地域では協力が困難であったコンビニ、飲食店等のチェーン店や大規模小売店舗に止まらず、銀行等金融機関や他の業種に対しても応援事業所としての協力を要請するとともに、この制度が一層充実するよう各種事業組合や全国規模の販売事業者が参加できるよう企業トップの協力を期待するところです。また、消防団員がスマホや携帯からアクセスすることにより、応援事業所の情報を簡便に入手できるとともに所在地まで案内できるようなシステムを擁したHPを開発するなど、利用者が使いやすいと思えるようなシステムにしていくことが必要となります。

市町村や一部地域で実施された消防団サポートプロジェクトで課題となったことを克服し、県下の消防団員が一様にその恩恵を受けるとともに県内全域で消防団を応援するため、この消防団応援事業所制度を発展させることにより、消防団員が胸を張って活動できるような環境の醸成に尽力してまいります。



# 現代日本消防50年

(公助)日本消防協会 会長 秋本 敏文

昨年、消防団120年自治体消防65周年記念大会を開催するに当たり、「消防団120年史」を発刊するなど、あらためて100年余の日本消防の歴史をふり返ってみました。そこで印象に残ったのは、自治体消防制度としては、昭和23年以来の65周年なのですが、消防の具体的な活動についての新しい制度、現代につながっている新たな活動への動きは、昭和35年自治省消防庁発足からの数年間にかなり集中していることでした。

救急業務を消防の仕事とする法改正は、昭和38年に行われました。それから次々に救急業務を実施する消防本部の指定が行われ、出動件数が増え、救急救命士制度が発足し、消防団まで含めて消防による応急手当の普及が進められるようになりました。今や消防活動の中で救急関係は大きなウェイトを占め、国民の皆さんと消防との最も日常的な関わりになっています。

この時期は、高度成長期に入って、都市には、高層の建築物や地下街が生まれ始め、また石油化学等の技術の進歩を背景にコンビナート建設が進み、新しい建築素材が出まわり始めました。当然、火災予防や消火活動で新しい動きが必要になりました。昭和36年に現在の防火管理者制度が定められ、昭和38年に日本消防検定協会が、昭和39年に日本防火協会が設立されました。

また、昭和34年の伊勢湾台風の経験から昭和36年に災害対策基本法が制定されました。

こうしたなかで、消防体制を一層強化するため、昭和39年の消防本部及び消防署の義務設置市町村や救急業務実施義務市町村の第1次指定から始まりいわゆる常備化が年々進められました。

この時期にこのような制度創設などが相次いで行われ、これらが現在の消防活動の基礎となり、消防は発展しました。その時期はおよそ50年前なのですが、その後の歩みを経て、現在の、さらには将来の日本消防はどのような対応をすべきなのでしょう。

基本はこれまでと同様に、消防を取り巻く状況の変化を的確にとらえて対応することでしょう。常備化が進んだ中でも、大災害の時の活動や地域に深く食い込んだ活動などは消防団でなければできません。団を含めて消防に求められる活動は拡がり、多様化しています。これに合わせて必要な装備は計画的に充実しなければなりません。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」は、消防だけでなく地域の総力を結集する方向をめざすもので、これも将来のあり方としてピッタリです。これを受けた8月29日の地域防災力強化大会は、初めてのもので歴史的な意味をもつといえると思います。いろいろな面で変化を迫られていると思われる現在というこの時は、日消を含めて最近50年の現代日本消防史を新たな発展に導く時だろうと思います。

# 日中韓消防協会会議について

(公財) 日本消防協会

平成26年7月16日（水）北京市広西大厦において、日本、中国、韓国三か国の消防協会代表者による会議が開催され、日本からは秋本敏文会長以下5名が参加しました。

はじめに、それぞれを代表して中国消防協会孫会長、日本消防協会 秋本会長、韓国消防安全協会 王管理理事より挨拶がありました。

引き続き、中国消防協会から、2015年10月下旬に、北京市において開催する第16回国際消防設備技術交流展覧会にて、消防安全宣伝をテーマとする共同展示コーナーを設置したいとする意向がしめされました。

日本消防協会からは、災害からの安全確保として、地域防災の中核である消防団の充実強化と住民の総力を結集した地域防災力の強化を推進すべきであるとし、この考えを基礎として昨年末に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立したこと、さらに、この法律の趣旨を活かして、消防団の充実強化を進めると共に、消防以外の各界の人々が参加する国民運動的な地域防災体制の強化を目指す国民大会を開催することを発表しました。

韓国消防安全協会からは、公共の消防安全体系として実施している消防教育計画についての発表がありました。

最後に、次回会議は日本で開催することで合意しました。





# 平成26年度 消防功労者総務大臣表彰

総務省 消防庁

平成26年7月4日（金）スクワール麴町において消防功労者総務大臣表彰が行われました。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び婦人（女性）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。



## ○消防功労者総務大臣表彰受賞者

### 【消防団員 9名】

- ・金 森 史 公（北海道・北十勝消防事務組合士幌消防団 団長）
- ・櫻 橋 敏 夫（北海道・釧路北部消防事務組合鶴居消防団 団長）
- ・畑 崎 久 雄（山形県・鮭川村消防団 団長）
- ・米 川 不二夫（茨城県・大洗町消防団 団長）
- ・柴 山 益 行（愛知県・名古屋市石黒消防団 団長）
- ・川 中 長 治（京都府・京都市山科消防団 団長）
- ・田 中 旭（兵庫県・たつの市消防団 団長）
- ・野 田 文 明（鳥取県・鳥取市消防団 団長）
- ・長谷部 悟（高知県・高幡消防組合梶原消防団 団長）

### 【婦人（女性）防火クラブ員 5名】

- ・後 藤 重 子（宮城県婦人防火クラブ連絡協議会 会長）
- ・佐 藤 みさ子（山形県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長）
- ・安 野 照 子（兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長）
- ・田 所 雪 子（香川県婦人・女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- ・大 森 幸 子（愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 会長）



# 平成26年度地震等防災対策委員会現地調査 (東京都大島町) 報告

(公財) 日本消防協会

平成26年7月7日、地震等防災対策委員会を東京都大島町で開催いたしました。

当委員会は、地震災害に対処するための備蓄資器材、地震災害時における住民保護対策及び防災教育の普及等について、調査研究することを目的としております。

昨年10月伊豆大島は、台風26号に伴う豪雨による土砂災害で、甚大な被害を受けました。同様の災害が地震等でも想定されることから、いまだ復旧復興活動が続いている中ではありましたが、大島町長をはじめ大島町消防団、大島町消防本部のご協力をいただきながら調査を実施しました。

## 1 日 時

平成26年7月7日(月)～8日(火)

## 2 場 所

- (1) 地震等防災対策委員会(7日 13:00～15:00)  
大島町役場 会議室
- (2) 現地調査(7日 15:00～17:00)  
大島町元町付近の土石流現場等

## 3 委員会の概要

- (1) 台風26号の土砂災害について  
講師 大島町消防本部長 羽根高明氏



秋本会長あいさつ



講師による説明

## 4 現地調査概要

平成25年10月15日から翌16日にかけて台風26号の通過により、大島町は未曾有の豪雨に見舞われました。元町地区上流域のいたる所で土石流が発生し、これらが合流するような形で押し寄せ、多くの人命が失われました。

本調査は、その被害状況を確認するために、大島町役場から出発して元町中心地区、神達地区の順に現地調査を行いました。

#### (1) 被害状況

10月10日にマリアナ諸島で発生した台風26号は、日本の南海上を北北西に進み16日未明に大島町に接近し、勢力は、16日午前9時の時点で960hPa、降水量は1時間あたり122.5ミリ、24時間で824ミリにも達しました。

この大雨で、土砂崩れによる土石流が発生し、元町中心地区及び神達地区で、被害面積114ha、被害戸数は283戸まで上り、死者36名、行方不明者3名、負傷者22名の人的被害を受けました。

#### (2) 元町中心地区の土石流現場（説明者：大島町消防団、大島町消防本部）

元町地区を襲った土石流の発生箇所は、三原山外輪山の広範囲にひろがり、複数の源頭部が視認できました。土石流の堆積した下流部の基質は主に黒色の火山灰で構成され、土石流発生時は泥流のような状態であったとの説明を受けました。



元町中心地を襲った土石流現場



献花台にて

#### (3) 元町神達地区の土石流現場（説明者：大島町消防団、大島町消防本部）

元町地区のなかでも、東側にあり港から遠く外輪山に近い高台の集落である神達地区が、甚大かつ広範囲にわたって被災しました。土石流の堆積した中央部付近では、家屋の跡形もなく、土石流の流れ下った外側に数件の残存した家屋が見られました。救出・検索活動は、倒壊した建物や流された建物等を対象に実施されました。



元町神達地区の土石流現場



#### (4) 消防団の活動（説明者：大島町消防団、大島町消防本部）

消防団の活動は、17日間で延べ2,974名にも上り、急斜面での検索活動や破壊された建物内の検索活動、瓦礫や流木の除去を行いました。現場は、重機の入り込める場所が少なく、マンパワーによる活動が主となり、団員の疲労は日々蓄積し困難を極めたものの、消防本部をはじめ緊急消防援助隊や自衛隊、警察などの関係機関とともに17名の要救助者を救出しました。地域や地形を熟知している消防団員の情報は、支援隊の搜索活動等に大きな成果がありました。

また、消防団は各業種の集団であることから、重機使用をはじめ、現場での機材整備など消防団ならではの特色を発揮しました。

# ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、平成26年5月分から7月分までに放送した出演者を紹介します。

## 平成26年5月放送分に 出演の消防応援団 ガッツ石松さん

5月3日又は4日放送



神奈川県  
川崎市中原消防団  
班長  
田口 眞弓さん

「ガッツ石松さんとのラジオでの対談では、女性消防団員の活動や役割などをお話することが出来とても良かったです。これからも地域に密着した活動をして行きたいと思います。」

5月17日又は18日放送



栃木県佐野市消防団  
分団長  
高田 一夫さん (父)  
本部団員  
中嶋 紀子さん (娘)

「地域の皆様との交流の中で、災害時の弱点を日頃から把握しておき、迅速対応を取れる様な分団である様、前進したいと思います。」

5月31日又は6月1日放送



岡山県美咲町消防団  
指導部長  
山崎 勇一さん

「大変貴重な体験ができありがとうございました。地域の方々とのコミュニケーションを大事にし、地域に根付いた頼りにされる日本一の消防団をめざします。」



5月10日又は11日放送



千葉県柏市消防団  
副団長 加来 敏行さん

「初めてラジオ出演ということで、緊張しましたが、アナウンサーの山本剛士さん、ガッツ石松さんの人柄あふれる進行のおかげで楽しい収録となりました。大変貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。これからも柏市消防団のために頑張ります。」

5月24日又は25日放送



石川県  
加賀市消防団  
副団長  
皆本 善宣さん

「今回初めてラジオ番組に出演させて頂くことになり、私なりに消防団員の技術向上を図る上で必要な訓練(ブラインド訓練)の取り組みを紹介させて頂きました。なにぶん初めての体験という事もあり、視聴者の皆様方にどこまでお伝え出来たか不安ではありますが、今後も様々な形で消防団をPRできればと思っています。」

平成26年6月放送分に出演の消防応援団  
美川憲一さん



6月7日又は8日放送



東京都尾久消防団 第三分団  
部長 加藤 めぐみさん

「放送に際して自分の消防団活動を省みる機会を与えていただき感謝しております。美川さんのフォローも嬉しかったです。ただ緊張してしまったので、放送を聞くのが少し恐いです。」

6月14日又は15日放送



神奈川県  
川崎市多摩消防団  
団長  
松澤 喜義さん

「美川憲一さん50周年コンサートの忙しい中、多摩消防団機動部隊等々の話が出来て光栄でした。これからも地域の為に頑張ります。」

6月21日又は22日放送



富山県東山見分団  
分団長  
太田 和也さん

今回のラジオ出演を機に改めて消防団の意義を考えました。地域に密着した啓蒙活動、地域住民とのふれあいを大事にし、「地域で頼られる存在」になるよう一層頑張ります。

6月28日又は29日放送



鹿児島県  
薩摩川内市消防団  
分団長  
時吉 正男さん

この度は、ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」へ出演させていただき誠にありがとうございました。ゲストの美川憲一様と対話が出来たことは良い思い出になります。この番組を聞かれている全国の消防団員の絆が更に深まり、若い世代の方々が、消防団に入団されることを心から願います。



平成26年7月放送分に出演の消防応援団  
有森裕子さん

7月5日又は6日放送



宮城県  
美里町消防団  
本部団員  
千葉 恵子さん

最初は緊張しましたが、有森さんの声を聴いてテンションアップ。無事収録を終えました。メダリストと会話ができ感激でした。

7月12日又は13日放送



山梨県昭和町消防団  
本部指導部長  
塩澤 政博さん

我が町、町民、家族を自らの手で守る信念。それに伴う訓練は惜しまない。そして、家族、仕事、消防のやり繰りができる器でありたい……

7月19日又は20日放送



岡山県岡山市消防団石井分団  
分団長 柴田 憲一郎さん  
団員 柴田 梨衣さん(娘)  
団員 柴田 真里さん(娘)

憲一郎「防火・防災は教育と経験から」  
梨衣「仕事と消防団活動を両立して学区の為に頑張ります。」  
真里「阪神タイガースが大好きです。消防団も大好きです。」

7月26日又は27日放送



長崎県大村市消防団  
団員 谷本 ななえさん

この度は、出演させて頂きありがとうございました。私のような若輩者が出演して良いものか不安でしたが貴重な体験をさせて頂き感謝しております。これからは、今まで以上に活動の輪を広げていけたらと思っております。  
目標→駅伝完走(笑)

おはよう！ニッポン全国消防団  
放送局・放送時間

平成26年4月現在

| 放送局        | 放送曜日 | 放送時間      | 放送局       | 放送曜日 | 放送時間      |
|------------|------|-----------|-----------|------|-----------|
| (株)ニッポン放送  | 日    | 6:15~6:25 | (株)和歌山放送  | 土    | 6:30~6:40 |
| (株)STVラジオ  | 日    | 5:50~6:00 | (株)山陰放送   | 日    | 8:15~8:25 |
| 青森放送(株)    | 日    | 7:20~7:30 | (株)中国放送   | 日    | 5:30~5:40 |
| (株)IBC岩手放送 | 日    | 6:15~6:25 | 山口放送(株)   | 土    | 6:45~6:55 |
| 東北放送(株)    | 土    | 5:00~5:10 | 四国放送(株)   | 土    | 6:40~6:50 |
| (株)秋田放送    | 日    | 6:15~6:25 | 西日本放送(株)  | 土    | 7:35~7:45 |
| 山形放送(株)    | 日    | 6:20~6:30 | 南海放送(株)   | 日    | 8:50~9:00 |
| (株)ラジオ福島   | 土    | 5:40~5:50 | (株)高知放送   | 日    | 6:40~6:50 |
| (株)新潟放送    | 日    | 7:40~7:50 | 九州朝日放送(株) | 日    | 6:15~6:25 |
| 信越放送(株)    | 日    | 6:50~7:00 | 長崎放送(株)   | 土    | 7:25~7:35 |
| 北日本放送(株)   | 日    | 6:10~6:20 | (株)熊本放送   | 土    | 5:30~5:40 |
| 北陸放送(株)    | 日    | 7:40~7:50 | (株)大分放送   | 日    | 6:45~6:55 |
| 福井放送(株)    | 日    | 6:10~6:20 | (株)宮崎放送   | 日    | 6:20~6:30 |
| 東海ラジオ放送(株) | 日    | 6:00~6:10 | (株)南日本放送  | 土    | 7:20~7:30 |
| 大阪放送(株)    | 土    | 6:45~6:55 | (株)ラジオ沖縄  | 日    | 6:35~6:45 |
|            |      |           | 計         |      | 計30局      |

「消防団応援の店」現地ルポ

## 山形県上山市消防団 「消防団応援の店」を訪ねて

赤羽消防団 副団長 小澤 浩子



さくらんぼ、ぶどう、ラフランス、りんご…と、年間を通じ豊かな実りに恵まれる上山市はくだものの郷です。山々に囲まれた傾斜地では太陽の光がさんさんと降り注ぎ、昼夜の寒暖の差が美味しい果実を育みます。6月25日に、ちょうどサクランボが旬の山形県上山市を訪問しました。当日は梅雨の晴れ間の青空が爽やかで、観光シーズンを迎えたかみのやま温泉駅では上山市消防署の指導で駅職員の皆さんの防災訓練が実施されていました。消防団担当の荒木宏仁庶務係長にお迎えいただき、上山市消防本部へ。吉田俊文消防長、大場佐俊次長兼消防署長、そして菅沼誠司上山市消防団長から当市の概要や消防団応援事業の概略をご説明いただきました。

### 心と体がうるおうまち かみのやま

歌人・斎藤茂吉のふるさととしても知られる上山市は人口約3万2千人、山形県の東南部、蔵王の裾野に位置し「蔵王エコーライン」が走る山岳リゾート地です。天文4（1535）年武将武永義忠が月岡に城を移し、川筋を変える等整備した城下町が現在の市街地の原型で、落ち着いた街並みです。室町期に旅の僧月秀が沼から湧いていることを発見した上山温泉は、昨年が開湯555

年に当たり、会津若松市の東山温泉、鶴岡市の湯野浜温泉と並ぶ奥羽三楽郷のひとつ。温泉観光都市として滞在型の宿泊客を増やす等、市も大いに力を入れているところです。江戸時代には羽州街道の宿場町として栄えた上山。城下町、宿場町、温泉街の3つが揃うまちは全国的にも珍しいとか。城下町特有の曲がりくねった道が走り、まちのそこそこに足湯が設置され、観光客の癒しの場となっています。全国かかし祭りも有名です。

### 若さ溢れる 上山市消防団

上山市消防団は10個分団・48部・52班とラッパ隊から編成され、平成22年には日本消防協会から特別表彰「まとい」を受賞しています。昭和60年の条例定数は952人で





したが平成7年に791人に改正。しかしその後も団員は減少を続け、平成26年4月1日現在の実員は750人（ラッパ隊員兼務者を含む）、18歳から71歳までの団員が所属し、平均年齢は34・9歳。定数改正時に高年齢層の退団が目立ち、平成10年には平均年齢31歳と若返った時期もありました。代々親の姿を見て消防団員となる後継者が多い地区では、入団後2～3年で班長、その後1～2年で部長になり分団長就任後は2年で退団することが慣例の地区もあり、平均年齢が若い消防団となっています。

このほかに107人の予備消防団員が存在します。予備団員は団員数の減少や日中不在団員を補うことを目的に、団員経験者が地元部長から推薦され地元部に所属し、水火災時の初動対応等に活躍しています。平成7年度に山形県市町村予備消防団見舞金協議会（県内11市町村で構成）に加入し、制度が導入されました。30歳から69歳までの人が所属し、平均年齢は50・3歳です。OB団員の活用として大変有効な仕組みだと思えます。

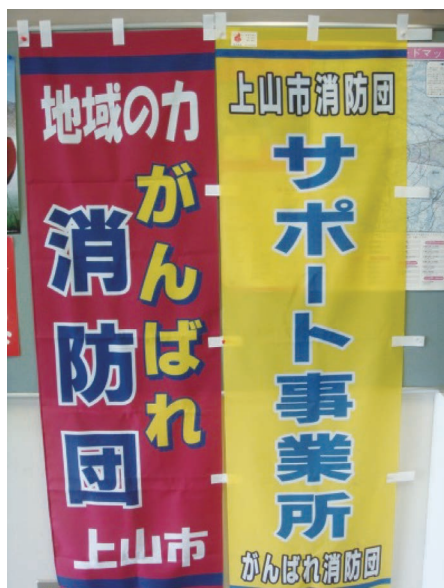
女性消防団員の数はまだ少なく、団本部に1人、ラッパ隊に3人、また1人が居住分団で男性同様の活動をしていますが、この方は関西で消防士として活躍していました。今後は女性の持つソフト面を生かし、住宅用火災警報器の普及促進、一人暮らし高齢者など災害時に手助けが必要な方宅への防火訪問、市民に対する防災教育及び応急手当の普及啓発などに女性団員の活躍が期待されています。

### 団員確保への危機感

上山市の災害対応としては、平常時の火

災鎮圧、豪雨の際の警戒、河川の溢水の対応などで特に大きな災害は今までも発生していません。雪害の対応として、水利確保のため消火栓等の除雪、高齢者世帯への定期的巡回や除雪の協力を行っています。「冬の雪掻きさえなければ、最高に暮らしやすいまち」というお話でした。

しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の活動を見ても消防団は地域に不可欠な存在であるとともに、団員の確保が喫緊の課題であるとの認識から上市市消防団では同年に、団員勧誘に直接携わる各地区の部長から課題や意見を聴取するため部長会を開催しました。さらに職員、団幹部、商工課職員の計4人で、消防団員入団促進・支援事業の先進地である岐阜県関市と愛知県瀬戸市を視察。その後「消防団活性化検討委員会」（職員・幹部団員13人で構成）を発足させます。部長会や視察を踏まえて検討協議した結果、消防団員の任務、活動内容、処遇などを記載した「団員勧誘用リーフレット」を作成し、先進地の取り



組みを参考に「消防団サポート事業」の開始に至りました。市内の協賛店舗、事業所36か所の協力を得て、平成24年4月1日からのスタートです。

開始に当たっては上山市のホームページにサポート事業所募集の案内を掲載、市内27店舗が加入する上山麵食堂組合には協賛依頼文を送付するとともに戸別訪問し、13店舗から協賛を得ました。また、この事業は消防団員の入団促進と団の活性化を図ることが目的であることから、団員本人あるいはその家族が経営する事業所にも協賛依頼を行い8事業所から協賛を受けました。

サポート事業所には「サポート事業所」と記入された黄色地の「のぼり旗」と「協賛事業所表示証」が支給され、表示証は店内に、旗は店舗の外の目に付く場所に設置してもらいます。協力事業所には飲食店、スキー場のレストハウス、陶器店、タイヤ販売店、さらに大型商業施設内の肉屋、薬屋等6店も名を連ねています。いずれも顔写真付きの消防団員証を提示することで団員のみ、団員と家族、団員と同伴者等が割引や大盛りサービス、粗品進呈サービスなどを受けることができます。実際にいくつかの協力店に伺いました。

### 利久堂菓子店

菅沼団長の経営する菓子店です。昭和6年創業の利久堂は、現団長で3代目となります。先代が体調を崩し、東京で修業中の菅沼団長が急きょ呼び戻され予定より早い段階でお店を継がれるとともに、団幹部だったお父様の影響で周囲の期待も高く消防団にも入団され現在に至っています。そもそも山形県はお菓子屋さんが多い土地柄

で、市民のお茶受けには漬物とともに甘いお菓子が欠かせません。それぞれの店が味に工夫を凝らし共存しているようですが、利久堂の自慢の菓子はゆべしとかりん糖。団長もこの味だけは次代に伝えていきたいと望んでいます。しっとり趣のある店内には甘い香りが漂い、当日も何人ものお客様が訪れていました。かりん糖を求めて遠方からの来店もあるそうです。じっくりと練り上げられたゆべし、黒糖の程良い甘さの大ぶりのかりん糖は、本当においしくまたいただきたくなる味です。日常のおやつとして、また進物用にと団員の方の利用も多いということです。ちなみに3人のご息はいずれも店を継ぎたいと希望しているとか。将来の団員候補もしっかり確保されているようです。





あっさり味の冷やしたたれをかけたもの。  
(是非一度味わいたいものです) 50円引き  
のサービスで、地元団員の利用も増え、地  
元以外からも団員さんが徐々に増えてきて  
いるそうです。他の麵食堂も含めさらなる  
利用拡大を期待しますということでした。

## 実態調査を終えて

### ～課題とこれからの展望～

サポート事業が開始して2年。実態調査  
等は実施していませんが、店舗により利用  
状況にばらつきがあり、協賛店の胸中も複  
雑なところがあります。利用者の多い協賛  
店からは好評ですが、そうでない店舗から  
は利用の促進が求められています。商工会  
からもまだ評価等は受けていません。しか  
し団員数も少数ながら増加し、一步前進の  
効果はじわじわ広がっているようです。利  
用を増やすためにも現在は希望者だけに交  
付している消防団員証を全団員に広げること  
が重要です。

今年4月に「活性化推進委員会」と名称  
を改めた会議でこの事業の今後の在り方を  
検討するとともに部長会も開催し、商工会  
ともさらに連携を深めながら設立目的である  
団員の入団促進と団及び地域の活性化を  
図っていききたいということです。団員の希  
望の多い身近な店や大型店舗の導入も検討  
されています。この事業の取り組みを知った  
サントリービバレッジから申し出があり、消  
防団応援自販機が市内に2台設置されたこ  
ともひとつの成果でしょう。広報誌の発行  
も考えているそうです

今回の調査で感じたことは消防団と消防  
本部の強い連携です。地域の安全のため、  
まさに一体となった活動は大変心強いもの



です。本部の前に設置されている消防団員  
募集の看板も署員の手作り、また調査のた  
めに詳しい資料冊子を作成していただきました。  
さらに、渡邊茂治山形県消防協会長も  
激励にお越しくださり、県を挙げての活  
性化の取り組みには敬服しました。

菅沼団長も、「回活性化のために先ずは  
何でもやってみよう」という方針です。ア  
クションを起こしながら団の魅力を増し、  
訓練ばかりのイメージから、家族に楽し  
みながら応援してもらえる消防団を目指  
しています。上山市消防団の今後が楽しみです。  
ご協力有難うございました。



# 「大規模林野火災を経験して」

盛岡市消防団 団長 藤澤 良悦



## 1 市の概要

盛岡市は、岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、明治22（1889）年に全国31都市のひとつとして誕生して以来、県庁所在地として発展を遂げ、現在は人口約30万人、面積886.47km<sup>2</sup>で、平成20年4月1日に中核市に移行しました。気候は、盆地特有の夏と冬、昼と夜の温度差が大きいのが特徴で、冬は氷点下10度以下になることもあり、特に玉山区藪川地区は、本州一の厳寒地として知られています。市内には、北上川、中津川、雫石川などが流れ、北西には岩手山を望み、春には国の天然記念物である石割桜が花を咲かせ、秋には中津川にサケが太平洋から遡上し、恵まれた自然から「杜と水の都」とも呼ばれ、四季折々の風情が市民や訪れる人々を和ませてくれる街です。

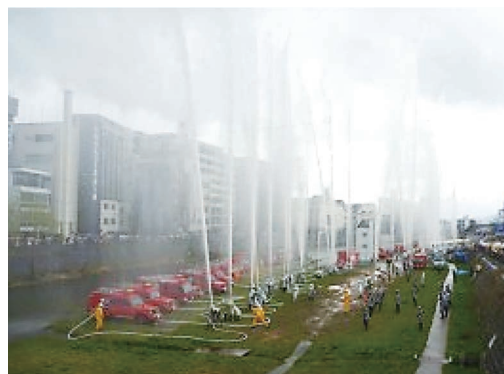


## 2 消防団の組織

盛岡市の消防は、「南部火消し」と呼ばれ、天明3（1783）年に町火消の先駆けとして創設された「いろは組」と「ゑ組」に遡ります。

「町火消組」は明治10（1877）年に「消防組」に改称され、第二次大戦下の「警防団」と呼ばれた時代を経て、昭和22（1947）年に「盛岡市消防団」が14分団体制で設置されました。

現在では1本部、29分団（50部）で構成され、団員数は平成26年4月1日現在で、1,150人（うち女性団員52人）、消防車両は、消防ポンプ自動車44台、水槽付ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車31台を配備し、市民の安全・安心のために日々精進しております。



## 3 火災の概要

平成26年4月27日（覚知13時13分）に玉山区で発生した林野火災は、乾燥注意報が発令されている中で延焼拡大し、約47時間後の29日12時に鎮圧、5月5日12時に鎮火に至ったもので、消防職員延べ748人、消防団員延べ1,159人により消火活動を行ったほか、防災ヘリコプター5機（福島県、宮城県、秋田県、青森県及び岩手県から各1機）、自衛隊ヘリコプター5機及び岩手県警察ヘリコプター1機に

より消火活動等を行いました。焼損面積は78.35haとなり、幸い人的被害、家屋の被害はなかったものの、大規模な火災となりました。

#### 4 火災防御活動

4月27日は、朝から良く晴れ、日中は少し汗ばむほどの天気で、乾燥注意報が発令されていました。そのような気象状況の中で林野火災が発生しました。13時13分に119番通報があり、当初、消防署隊と地元の玉山区の分団が出動して消火活動を行ないました。火災は延焼拡大の様相を呈したことから、消防本部では岩手県に防災ヘリコプターを要請しましたが、点検中のために出動できず、さらに隣県の防災ヘリコプターも出動中などであったため、福島県防災ヘリコプターを要請することとなりました。消防本部では、出動部隊を追加するとともに、14時46分に職員の非常召集により活動部隊を増強したことから、消防団も同様に、全分団に対して出動あるいは待機態勢を命令しました。15時05分に盛岡市が自衛隊の派遣要請をし、15時30分に消防本部が火災現場付近に位置する盛岡中央消防署玉山出張所に現場指揮本部を設置して、関係機関との活動調整を行なうこととしたことから、その中で消防団現場指揮本部は消防本部、自衛隊、警察と連携しながら、消防団の消火活動の指揮に当たりました。



消防団の消火活動は、延焼拡大を阻止すべく、分散的に部隊を配置させ、山中の沢やため池などの自然水利を活用して防御に当たりました。また、地元の分団以外から応援出動となった分団は、山の地理に乏しい団員が多いことから、玉山区の分団を中心に配置分団を編成し、消火活動中の安全管理には苦慮したところでした。



火災の状況は、夕方になっても延焼拡大の勢いは治まらず、16時35分に防災ヘリコプター、18時01分に自衛隊ヘリコプターによる空中消火が開始されました。また、17時には火災現場付近の11地区（109世帯、333人）を対象に避難勧告が発令されました。18時40分には、日没のため消火活動中の部隊に対して下山指示が出されましたが、その後も火勢は衰えず、19時10分に3地区（34世帯、100人）を対象に避難指示が発令され、夜間は、火災現場付近の集落6地区に消防署隊と消防団隊が常駐して延焼拡大の警戒に当たりました。

28日は6時から消防署隊と消防団隊が地上での消火活動を再開するとともに、防災航空隊と自衛隊のヘリコプター10機による空中消火を行いました。16時半ごろにはほぼ火勢鎮圧状態となり、避難勧告の一部が解除され、夜間は、集落4地区に消防署隊と消防団隊が常駐して警戒に当たりました。

29日は6時から消防署隊と消防団隊が地上での消火活動を再開するとともに、岩手県防災ヘリコプター1機による空中消火を行い、12時に火勢鎮圧となりました。

消防団は、鎮圧後に消火活動を終了して解散し、その後は、消防署隊による残火確認が継続して行なわれ、5月5日12時に鎮火となりました。



## 5 これからの課題

私は昭和51（1976）年4月に消防団に入団し、これまで様々な火災現場に出動してまいりましたが、このような規模の山林火災は初めて経験しました。

このたびの林野火災で、消防団は3日間消火活動に当たりましたが、出動した団員は延べ1,159人、出動車両は延べ127台でありました。消火活動が困難な夜間も延焼拡大の警戒のため現場に常駐し、24時間体制で活動を行いました。

消防団員としての使命感に燃え、消火活動を行なった団員の「南部火消し魂」を改めて頼もしく感じたところです。

この大規模火災を経験して、常備消防をはじめ関係機関と連携した活動がいかに重要であるかを感じました。また、消防団全体が一丸となり、地域のために必死で消火活動に当たる団員の

姿に接し、大規模な火災現場であるがゆえに、団員の安全確保のための的確な指示・命令、団員に情報を共有させることが必要であり、それが安全管理を行なう者の重要な責務であると痛感しました。

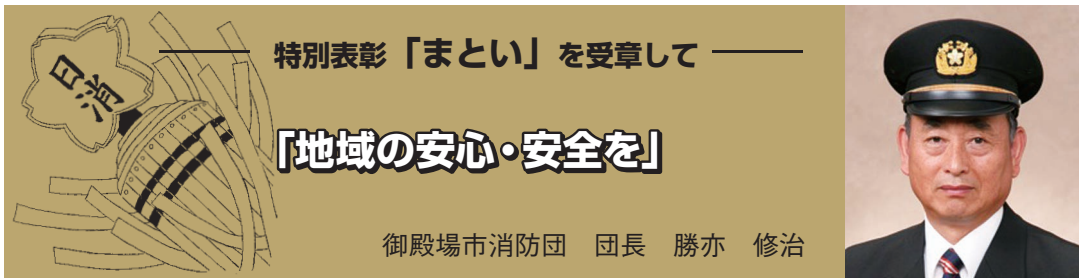
団員が安全に活動を行なうためには、現在の装備をさらに充実しなければならないと感じたところであり、今後、地域住民のために消防団としての役割を十分に果たせるよう、必要な資機材等の整備を進めるとともに、団員の確保に努めてまいります。

## 6 おわりに

このたびの林野火災に際しましては、公益財団法人日本消防協会をはじめ多くの方々からご支援、ご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。また、長時間にわたり消火活動に当たられた自衛隊をはじめ福島県、宮城県、秋田県、青森県、岩手県の各防災航空隊、岩手県警察の皆様には、心より感謝を申し上げます。

盛岡市消防団は、このたびの林野火災を教訓として、団員が一丸となり市民の安全・安心のため、消防防災活動に尚一層精進してまいりたいと存じますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。





～はじめに～

平成26年2月28日、日本消防会館（ニッショーホール）で開催されました「第66回日本消防協会定例表彰式」において、消防団として最高榮譽である特別表彰「まとい」を拝受いたしました。全国2200余団の中からこの榮譽ある表彰を受章できましたことは、私ども御殿場市消防団員はもとより、御殿場市民にとりましてこの上ない喜びであり誇りとするところであります。

これもひとえに市民の皆様、消防団の歴史と伝統を築いてこられた諸先輩方並びに多くの消防防災関係者皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

～御殿場市の紹介～

御殿場市は静岡県東部、霊峰富士の東麓に位置する緑豊かな高原都市です。人口は約9万人余を有し、静岡県では中規模な都市として発展を続けています。東京から約100キロの距離にあり、首都圏の経済圏、通勤圏内にもなっております。

また、市内には東富士演習場をはじめとする自衛隊関連施設が多く存在し、市域の約3分の1を占めています。

御殿場といえば、富士山。昨年には世界遺産にも登録された世界でも有数の名山中、日本一の高さで景観を誇る富士山は、御殿場を象徴する名所でもあります。四季折々の美しい景観、雄大な自然に囲まれたスポーツ環境、自然探索など、御殿場はひと味ちがった楽しさを味わうことができます。

～御殿場市消防団の沿革～

御殿場市消防団の歴史は、明治27年2月に消防組規則が交付され、各町村に消防団の前身となる公設消防組が設置されたことを起源とします。昭和30年2月11日、1町4村の合併により御殿場市が誕生したことに伴い消防団も合併し、団員611名、ポンプ自動車8台、可搬式ポンプ20台、腕用ポンプ29台の御殿場市消防団が発足しました。

昭和40年、消防本部が設置されたのを機に、消防団は消防団と各地区の火防隊とに再編成され、団員376名、ポンプ自動車11台、可搬式



まとい受章



消防出初式



ポンプ15台の少数精鋭を図った編成に組織されました。

平成23年度には女性団員を組織（平成26年6月1日現在16名）、平成25年度には機能別団員制度を導入し、現在の組織は1団本部、6分団、26部制で、条例定数396名（平成26年6月1日現在実員378名）、装備はポンプ自動車26台、林野工作車1台の計27台の近代的な装備と機動力を備えております。

### ～御殿場市消防団の主な活動～

消防団の主な活動は、災害防除活動は基より、市総合防災訓練や地域防災訓練、各区実施の訓練等への参加により自主防災会等との連携強化を図るといった地域密着型の活動を行っております。

毎年1月に消防出初め式を実施、訓練礼式の披露、各種表彰や、感謝状の贈呈を行った後、市中防火パレードを実施しています。

各種研修として、年度当初の4月に新入団員研修及び機械器具取扱い訓練を実施、消防団員としての基礎や、配備されている機械器具の取扱いについて研修を実施します。6月に水防訓練を行い、土砂災害についての講義や土嚢工法等の水害対策の研修を受けます。

また、演習訓練として、春季、秋季には演習を行っており、春季演習時には多くの来賓者を迎え、訓練礼式（車両点検・規律訓練）及び操法（ポンプ車操法・小型ポンプ操法）を展示します。秋季演習では、採点方式を採りポンプ車操法、小型ポンプ操法を実施して

おり、各分団が日頃の訓練の成果を発揮する機会となっております。

さらに、予防広報活動として、春季及び秋季火災予防運動中や、歳末特別警戒では、夜間管内車両広報を実施、女性団員も同乗し火災予防を呼びかけています。また、女性団員は幼年消防クラブ員を対象とした幼保育園の花火教室での活動等、防火広報を行っております。

特に今年は、11月に東京臨海防災広域公園で開催される、第24回全国消防操法大会「ポンプ車の部」に静岡県代表として参加します。そのため御殿場市消防団員が一丸となり、てっぺんを目指し、連日早朝訓練、夜間訓練等を行い技術を磨いております。

### ～おわりに～

近年、社会情勢や気候の変化により、「想定外・未曾有」といわれる過去に経験のない多種多様化した災害が全国各地で発生しており、地域防災における消防団の必要性・重要性がより一層増してきております。

この度、受章しましたこの栄誉ある特別表彰「まとい」を誇りに、郷土愛護の精神に基づき、市民の生命、身体及び財産を守るために、より一層努力してまいります。

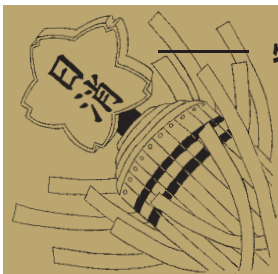
最後になりましたが、受章にあたり、格別のご高配を賜りました日本消防協会をはじめ消防関係各機関の皆様へ改めて深く感謝を申し上げます。受章の御挨拶とさせていただきます。



防火・交通パレード



県消防操法大会ダブル優勝



特別表彰「まとい」を受章して

## 「誇りを胸に」

野洲市消防団 団長 小山 義弘



### 1 はじめに

このたび、「第66回日本消防協会定例表彰式」におきまして、消防団として最高位の榮譽であります日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞いたしました。

野洲市消防団にとって、永年の念願でありましたこの榮譽ある最高の章を全国数ある消防団の中から受章できましたことは、我々消防団はもとより、野洲市消防団関係者にとりまして、このうえない喜びであり、誇りであります。

これもひとえに、本市消防団の規律厳正にして技能熟達し、永い歴史と伝統を受け継ぎ、多年にわたり抜群な成績を堅持された諸先輩の功績、そして、今日まで昼夜を分かたず消防団の使命を果たしてきた団員各位とその活動を陰で支えてくれたご家族のご理解とご協力があったのことに深く感謝を申し上げます。



野洲市長へまとい受章報告

### 2 野洲市の紹介

野洲市は、平成16年10月に旧中主町と旧野洲町が合併し誕生した市で、滋賀県南部の湖南地域に位置しており、西は守山市、栗東市、南は湖南市、北は近江八幡市、東は竜王町に接し、東西10.9km、南北18.3kmに広がり、面積は80.15km<sup>2</sup>、世帯18,830世帯、人口50,733人（平成26年4月）を擁してい

ます。

本市の地形は、東南部の三上山から妙光寺山、鏡山等によって形成する山地部と、山地から琵琶湖に向かって緩やかに広がる平坦地に分かれます。さらに町に潤いと実りを与える野洲川と日野川が琵琶湖に注がれています。山地部には県立希望ヶ丘文化公園及び花緑公園等が整備され、自然環境とレクリエーションに親しめる施設が立地しています。平坦地は市街地が形成され三角州は農地として利用されています。また、多数の銅鐸が出土し、「銅鐸のまち」として知られ、他にも古墳群や神社仏閣など豊富な歴史文化遺産に恵まれたまちでもあります。



野洲川と三上山



平成24年ポンプ車の部優勝

### 3 野洲市消防団の紹介

本市消防団は、本部1、分団7、団員数159名、[条例178名(内女性団員16名)]で組織しており、指令車1台、消防自動車6台、積載車1台、小型動力ポンプ3台を保有し、平成21年度には、総務省より救助資機材搭載車の貸与を受け、機動分隊を発足させました。県消防操法大会では、平成23年に小型ポンプの部で優勝、平成24年にはポンプ車の部で優勝し、第23回全国消防操法大会ポンプ車の部で6位入賞を果たしました。

### 4 野洲市消防団の主な活動

本市消防団の日常の活動としては、市内92自治会(全ての自治会で自主防災組織が結成済)に対して、消火訓練はもとより、DIG訓練(図上訓練)やシナリオレス訓練を常備消防と連携して実施する一方、災害現場へ迅速に対応するために各階級に応じた技能訓練や常備消防との連携訓練、さらには湖南地域を管轄する近隣の3市消防団との合同訓練等、日夜、複雑多様化する災害に対応するための各種訓練を実施しています。



技能向上訓練

さらに、野洲市消防団では女性分団(やすファイヤレディーズ)を平成9年に結成し、主に火災予防啓発活動として、一人住まいの高齢者宅への防火訪問、防火啓発パトロールや地域住民に対する防火防災相談、また春・秋の火災予防運動には街頭広報を行うとともに、平成25年度からは、当市を管轄する湖南広域消防局が考案した9 Years Plan(幼少年期からの防火・防災教育プログラム)を取入れ、幼稚園や小学校の児童に対して、「ぼうさいダック」や「けむとん」等を使用した防火防災指導を実施しています。



全国女性消防団員熊本大会

また、女性消防団員の活性化に向けた取り組みとしては、特に平成19年度に開催された全国女性消防団員活性化熊本大会で、やすファイヤレディーズ分団が日頃の消防団活動を寸劇で披露し、大変好評をいただいたところでございます。

### 5 おわりに

全国的に消防団員の減少が懸念されている今日、野洲市消防団においては地域防災力を向上するために平成27年に1分団(北野分団)を新設する計画で、昨年度から消防団員確保実行委員会を立ち上げ、消防団員の確保に努めているところであります。さらに、滋賀県下では初めてとなる「消防団サポート事業」を実施し、消防団員の確保とともに団員の福利厚生を充実していきます。

この名誉ある「まとい」を目の前にし、住民の安心と安全を守ってこられた消防団員の諸先輩方への感謝と敬意を表するとともに、今後この「まとい」を、野洲市消防団の象徴として「誇りを胸に、我々消防団員一同、更に一致団結し、地域防災の要となるよう、精一杯防火防災活動に邁進していく所存でございます。



頑張ろう！ 野洲市消防団



## 「愛・魂・絆 心は1つ」



宇城市消防団 団長 中塘 万格人

### 1 宇城市の紹介

宇城市は熊本県のみならず、九州のほぼ中央に位置しており、東西約31.2km、南北13.7kmと東西に長い形状で、人口約62,000人、面積188.5km<sup>2</sup>を有し、デコポン発祥の地として知られています。

### 2 宇城市消防団の概要

宇城市消防団は、平成17年の市町村合併により5つの団が合併して誕生しました。

5方面隊23分団47部117班を有し、団員数は条例定数1,892名に対し、本年4月1日現在で1,834名（うち女性団員62名）が在籍しています。男性団員の平均年齢は37.3歳、女性団員の平均年齢は46.1歳と、



女性部普通救命講習体験活動

比較的若い団員が多いのが特徴です。

数年前までは他市の例にもれず団員数の減少と平日昼間出動可能な団員の減少という問題に直面していたため、平成24年度から訓練・式典等への出動を免除し、災害に特化した団員OBの再雇用と消防吏員OBの加入を勧める機能別団員制度を運用しています。現在、206名の機能別団員が災害時に活動を行っています。

### 3 宇城市消防団の活動

男性団員の活動として、平常時の各種訓練や予防活動、災害時の消火活動や残火処理、土のう構築や避難誘導など、多種多様な活動



安否確認訓練

を行っています。

女性団員の活動としては、独居老人宅への防火訪問や広報活動、普通救命講習の指導などを行っています。

男女を問わず特筆すべき活動は、宇城市の総合防災訓練に合わせ、全ての班が市の要援護者支援名簿に登録されている要援護者宅を行政区長、民生委員及び消防団員で訪問し、要援護者宅・要援護者の人定を把握するというものです。この活動により、非常時にはスムーズに要援護者宅を訪れることができ、迅速な避難行動や安否確認に繋がるものであるとの思いから、毎年取り組んでいます。

また、年2回発行している消防団広報紙の発刊も頼もしく思う活動です。

これは、各方面隊の副隊長（副団長級）10人で組織する広報委員会が発刊するものであり、原稿の選定から取材依頼まで、全てこの広報委員会で行われています。

出来上がった広報紙は、各行政区長を経由して各戸に回覧され、紙面上での団活動の啓発と新入団員の募集を行っています。



水難救助訓練

各班の地道な勧誘活動の成果もあり、平成25年から平成26年にかけては102名の退団者数に対し、135名の新規入団者を確保できたことは非常に誇らしいことと自負しており、先日は新藤総務大臣から感謝状もいただいたところです。

## 4 おわりに

今、消防団に求められていることは、災害によって失われる尊い命を守ることだと思います。

3年前、東日本大震災で津波にのまれ、母親をなくし泣き叫ぶ少女の姿を報道を見た時、「家族を失い泣く人を、一人でも少なくしていきたい」との思いが強く心に焼きつきました。

そこで、団員数を確保すると同時に、以前より多くの団員から要望があっていた火災メールを整備していただいたことにより、団員全てに火災情報や災害、行方不明者搜索等の情報がメール配信されることになりました。これにより、全団員が災害現場へ駆けつける時間の短縮に繋がるものと期待をしています。

団幹部の一人ひとりが、班の活動を重視し支えていきながら、命を守る消防団の魂を一人でも多くの団員に共鳴させていくことが、魅力ある消防団を作っていくものと考えます。

「楽しくなければ、消防団じゃない！」消防団員の絆をより一層深めていきたいと思いません。



## 「地域一体となり 減災を目指す」



田原市消防団 団長 瓜生 陽一

### 1 田原市の紹介

田原市は愛知県の南端に位置し、北は風光明媚な三河湾、南は勇壮な太平洋、西は伊勢志摩を臨む伊勢湾と三方を海に囲まれた渥美半島のほぼ全域が市域となっています。海岸延長は約100kmに及び、唯一、東側を陸続きに豊橋市と接しています。

太平洋に沿い伊勢湾方面へ突き出した東西に細長く伸びる半島であり、東西延長は、約30km、南北延長は約10km、行政面積は188.81km<sup>2</sup>となっています。

### 2 消防団の紹介

田原市消防団は現在1団10分団、消防車両25台、団員数720名で組織されています。地域柄、農家や自営業者が多く、消防団としては恵まれた状況でしたが、近年の社会情勢や就業形態の変化により団員のサラリーマン化が進み、団員の確保は本市にお



観閲式で堂々と行進する団員達



セーフティラインと誘導看板

いても喫緊の課題となっています。平成25年度に災害時の消防団員の確保を目的として「機能別消防団員制度」などを導入し一定の成果を上げていますが、基本団員の確保を最優先とした新たな対策が望まれるところです。

### 3 防災とのかかわり

消防団の活動は、年度当初の幹部教育訓練に始まり、新入団員教育訓練、機関員講習、山林火災訓練、操法訓練など各種訓練に加え、管轄消防水利の維持管理、自治会との連携訓練、年末夜警など多岐にわたります。その中でも津波避難対策について紹介させていただきます。

本市は、海に囲まれ海拔の低い地域が多数存在し、国の発表した南海トラフ地震の被害想定では、最大津波高22mが想定され、東日本大震災以降、様々な対策を行ってま

いりましたが、特に平成25年度に田原市消防本部の遠山消防士が全国消防職員意見発表会の中で発表した「道標」のアイデアを基に「道標プロジェクト」と称した防災対策を消防行政、消防団、地元住民一体となって行っています。

このプロジェクトは、地元住民や土地勘のない観光客への津波避難誘導を目的に、高台の避難場所までの経路を道路や電柱などに記し、津波避難に役立てるというものです。特に渥美半島の先端に位置する堀切校区は津波避難に猶予が無く、市が指定する避難場所までの距離が約2kmの場所にあるため防災意識が高く、このプロジェクトのモデル地域となっています。

地理的に甚大な津波被害の想定される本校区は、避難に時間がかかる要配慮者等に少しでも生きる希望を持ってもらえるよう、海岸からの距離や勾配等を考慮し、概



津波避難訓練において住民を誘導する団員

ね浸水ラインの標高から1.5mの地点にセーフティラインを定め、津波襲来の際には、とにかく全力で逃げていただくよう指導しています。消防団員の活動は、津波浸水想定区域、津波避難対象区域では自らが率先して避難を行いながら、対象区域内の住民の動く道標として行動することをマニュアル化しました。また、平成24年度に日本消防協会から交付していただいた多機能型消防車を本校区の分団に配備し、半島先端の救助が届きにくい地域の主力として、「自分たちの地域、家族は自分たちで守る」の精神を持って、その高い士気を内外に示しています。

#### 4 おわりに

東日本大震災以降、消防団に寄せられる期待は高まる一方である反面、一般の方にはそれが負担と捉えられ、新団員の勧誘時に断られるケースが増えています。私たち自身は消防団のやりがいや楽しさを感じていますが、それを世間に伝えることができていないと感じます。私自身が率先して行動することにより団員の士気を高め、さらに活気ある消防団となることを目指し、田原市消防団は今後も地域防災の中核として積極的に活動していく所存です。



団員の士気高揚を目的に登はん訓練を志願



## 「地域の 防災リーダーとして」



大山崎町消防団 団長 田所 隆司

### 1 大山崎町の紹介

大山崎町は、京都盆地南西端の乙訓地域の西端に位置し、面積5.97km<sup>2</sup>（京都府内の市町村で最小）、人口15,037人（平成26年6月1日現在）のまちです。

町域には、桂川・宇治川・木津川の三川合流点を含む淀川水系が流れ、古来より都の玄関口として栄え、天下分け目の合戦で有名な天王山や千利休ゆかりの茶室「待庵」（国宝）等、数多い歴史に刻まれ、現在においても、名神高速道路、東海道本線、新幹線



初級団員教養

などの国土幹線が縦横に走る交通の要衝としての役割もはたしています。



台風18号による三川合流点付近の状況、写真国土交通省提供

### 2 消防団の概要

大山崎町消防団は、平成26年4月1日現在、団本部、3分団の団員数105名（条例定数120名）で構成され、消防車両等の装備は、消防ポンプ自動車3台、小型動力ポンプ積載車3台を配備し活動しています。

### 3 消防団の活動

平成25年度の出場等につ



いては、災害出場2件、訓練出場12件、機関点検51件、広報・特別警戒22件、その他フェンシング大会警備など42件に、合計1,301人が出場し、災害はもとより地域の様々な活動に参加し、住民に信頼される活動を行っています。

#### (1) 台風18号

災害出場では、台風18号の影響で昨年9月16日に全国で初めて特別警報が発表され、大山崎町でも避難指示が発令されたことに伴い、消防団員50人が広報・避難誘導活動を行い住民約2,000人が避難所に避難しました。

#### (2) 大規模消防訓練

乙訓二市一町消防防災相互応援協定に基づき構成市町の大山崎町・長岡京市・向日市の消防団、自衛消防隊及び常備消防約100人が出場し大規模消防訓練を実施しました。



乙訓二市一町総合消防訓練

#### (3) 消防広報

例年開催される「おおやまざき産業まつり」では防火啓発イベントを行い、住民との繋がりを深めました。

## 4 おわりに

大山崎町においても、他都市同様、団員の高齢化、サラリーマン化は進んでいますが、年齢や仕事もそれぞれ違うなか消防団活動を通じ交流を深め、家族や地域のため消防団活動に精励しています。今後ますます消防団の重要性が高まるなか、住民の期待に応えるべく、訓練と教養をかさね、防火・防災に関する技術と知識向上を図り地域の防災リーダーとして、災害に備えていきたいと考えています。



おおやまざき産業まつり



## シンフォニー（栃木県）

# 「できることからコツコツと」

宇都宮市消防団第8分団 副部長

飯田 恵子

私の住む宇都宮市は栃木県の中央部に位置する市で、餃子の街、カクテルやジャズの街としても有名なおとこです。

現在、宇都宮市は、1団26分団143部、定員2150名で組織されており、そのうち、本部分団の6名と、地元分団の41名、合わせて47名の女性消防団員が所属しております。

私は宇都宮市第8分団に所属し、男性団員と共に、地域の防災訓練や、年末年始の夜警、ポンプ基本操法など年間を通して活動しています。



ポンプ操法大会にて



防災訓練での放水体験指導

地域の防災訓練では私の子供が通学する小学校の校庭で放水の体験を行い、消防団の活動、役割のPRをさせていただきました。そして、そのPRの一環として『ハっちん』という蜂のゆるキャラを用いて活動に役立てています。大人にも子供にも親しみやすく、地域にやさしい消防団を、ハっちんと共に目指していきたいと思っています。

ポンプ操法大会において、私は第8分団の吸管補助員として選手たちのサポートを

させていただきました。休日も勤務時間も団員によって違う状況の中、選手たちの思いや意見など聞いたり、練習方法や、日程などを話し合ったり、工夫しながら練習を行ってきました。もちろん、女性でも特別扱いされることなくホースを巻いたり洗ったりと団員としてできることをさせてもらいました。

大会当日は、前日から大雨だった空模様が一変し、穏やかな日差しの中、自分たちの思う競技を行うことができました。その結果、6位入賞となり団員みんなの思いをかたちに残すことができました。

そして、もうひとつ、女性団員としての活動があります。

本部分団の女性団員を中心に応急手当普及員の認定を受け、指導員と一緒に応急手当の重要性を市民のみなさんにお伝えしたり、ポンプ操法大会での軽可搬ポンプ基本操法の展示、フェスタマイうつのみやでの消防団活動の啓蒙など、女性ならではの特性を活かした活動にも参加させていただいています。

フェスタマイうつのみやでは女性消防団員として参加し、消防団は火事を消すこと



出初式にて



応急手当普及員の活動

だけではなく、火事を起こさないための予防も大切な活動ということ、そしてそれは、女性でもできることを、訪れた方々にお伝えすることができました。

また、応急手当普及員として、はじめは人前で話すことに緊張し、わかりやすく伝えることの難しさに戸惑いもありましたが、女性団員同士で話し方の練習や模擬発表など行い、少しずつですが緊張せずに笑顔で話をする事になれてきました。今後も、少しずつですが練習を重ねて活動していきたいと思います。

所属分団での団員としての活動と女性団員だけの活動と、活動の内容や役割こそ違うけれども、思いはひとつ、みなさんの大切な命そして財産を守っていくこと。このことを忘れずに、お互いを認め合い、支えあい、宇都宮を守っていききたいと思います。

# 『平成26年度消防育英会奨学生懇談会』 を開催しました

(公財) 消防育英会

(公財) 消防育英会は、7月24日、25日の2日間にわたり、近畿・中国・四国・九州地区の小学6年生から高校2年生までの奨学生6名、保護者7名、各県等の消防育英会担当者と事務局が参加して平成26年度消防育英会奨学生懇談会を開催しました。



全国消防殉職者慰霊碑に参拝

1日目は、日本消防会館に集合し、会館屋上にある全国消防殉職者慰霊碑に参拝しました。

その後、バスで、有明の「東京都水の科学館」へ向かいました。「東京都水の科学館」

では、改めて水の大切さを知るとともに、水に関する実験や体験をしました。

午後5時30分からは、宿泊ホテルで奨学生懇談会を行いました。

生嶋常任参事のあいさつの後、参加者を代表して吉海郁さんが乾杯を行いました。

参加者同士で情報交換を行いながら親睦を深め、途中事務局によるゲームや抽選会などを行いました。最後は、参加奨学生と保護者全員から、将来の夢や家族や育英会へ向けたこ



東京都水の科学館において



懇親会の様子

れまでの思いを語っていただき、笑いあり涙ありの和やかな雰囲気のもとに終了しました。

2日目は、参加者全員が楽しみにしていた「東京ディズニーランド」で課外研修を

行いました。天気は、夏本番のとても厳しい暑さでしたが、参加者は思い思いのアトラクションで一日中、楽しんでいました。

きっと、夏休みの良い思い出になったことでしょう。



東京ディズニーランドにおいて

消防育英会からのお知らせ



競輪補助事業完了のお知らせ



この度、平成25年度競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

記

- 1 (公財)JKA事業名 平成25年度警察・消防活動の協力中の事故被害者に対する支援活動
- 2 事業の内容 消防団員、消防職員等の殉職者遺児に対する奨学金の支給
- 3 補助金額 17,789,000円
- 4 完了年月日 平成26年3月1日

公益財団法人消防育英会 理事長 原 正之

(消防育英会は競輪からの補助を昭和43年から毎年受けています。)

# 第28回中国消防視察について

(公財)日本消防協会

中国消防視察につきましては、昭和60年4月25日に「日中消防友好協定」を締結し、中国各地の消防機関を視察するとともに友好を深めており、例年、参加者には好評を博しております。

本年度の消防事情調査においては、北京市のほか、今回初めて貴州省、海南省を予定いたしております。

## 1 目的

中国各地の消防機関を訪問し、日中両国消防の友好交流を深めるとともに、中国消防体制・制度等についての見聞を広めることを目的とします。

## 2 参加者資格

各都道府県消防協会役職員、消防団幹部（退職者を含む）、消防職員幹部（司令補以上、退職者を含む）及び消防団事務担当者等で健康な方。

## 3 訪問先消防機関等

- ※ 北京市・凱里市・三亜市では消防調査を予定しております。
- ※ 各都市では中国の消防幹部との意見交換会等を予定しております。
- ※ 中国国内の行動に関しましては、中国消防協会の協力により、同協会の全面的な便宜供与を受けることとしております。

## 4 期間

平成26年11月18日（火）～11月25日（火）まで（7泊8日）



故宮博物院

## 5 経費

|     |          |
|-----|----------|
| 総経費 | 268,881円 |
|-----|----------|

- ※ 中国滞在中の食費及び調査先の入場料等の諸経費は含まれています。
- ※ 調査期間中、一人部屋を希望される方の追加料金は57,188円が必要です。

## 6 申込方法と期限

参加申込書を各都道府県消防協会でお取りまとめいただき、平成26年9月12日（金）までに当協会へ提出して下さい。

## 7 取扱旅行業者（前後泊、日本国内航空券、海外旅行保険、成田集合案内等）

株式会社日本クリエイティブ 旅行部

TEL：03-3501-6311

FAX：03-3501-6301 山口・桑原

## 8 公益財団法人 日本消防協会 国際部 担当 福地

TEL：03-3503-3054

FAX：03-3503-1480

E-mail：fukuchi@nisssho.or.jp

## 9 日本国内宿泊等の斡旋

参加申込者には、申込締切り後に旅行業者から次の斡旋について連絡がありますが、必要な方はお申込み下さい。

(1) 前後泊ホテル ホテル日航成田

(2) 宿泊料金シングルルーム1泊（朝食・税・サービス込） 9,300円



凱里市 少数民族

## 第28回中国消防視察日程（案）

|   | 日 期           | 時 間                                                  | 摘 要                                                                              | 宿 泊                                                                                                    |
|---|---------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 11月18日<br>(火) | 8: 15<br>10: 30<br>13: 40<br>18: 30                  | 成田待合室にて結団式<br>全日空NH905便にて成田出発<br>北京着後、市内視察<br>世界遺産故宮博物院視察、専属消防隊視察<br>中国消防協会歓迎会   | クラウンプラザ北京<br>(北京国際芸苑皇冠飯店)<br>北京王府井大街48号<br>TEL 86 10 59119999<br>FAX 86 10 59119998                    |
| 2 | 11月19日<br>(水) | 午前<br>午後<br>18: 00                                   | 世界遺産万里の長城視察（視察グループ）<br>第30回日中消防協会定期協議会（会議参加者）<br>世界遺産頤和園視察<br>釣魚台迎賓館にて日中消防交流会    | 北京市（2泊）                                                                                                |
| 3 | 11月20日<br>(木) | 09: 00<br>10: 00<br>11: 50<br>15: 00<br>18: 00       | ホテル出発<br>北京空港着<br>中国国際航空CA4162便にて、北京出発<br>貴州省貴陽市着後、市内視察 甲秀楼等<br>貴州省消防協会歓迎・意見交換会  | 貴陽ケンピンスキーホテル<br>(貴陽凱賓斯基酒店)<br>中国貴陽市护国路68号<br>TEL 86 851 599 9999<br>FAX 86 851 599 9888<br>貴陽市（1泊）     |
| 4 | 11月21日<br>(金) | 朝<br>夕方                                              | ミャオ族トン族自治州 凱里市へ<br>ミョオ族村（文化財・千戸以上）消防視察<br>凱里博物館、青曼ミャオ族、季刀ミャオ族<br>現地消防との交流会       | 嘉瑞禾維景国際度假酒店<br>凱里市迎賓中路13号<br>TEL 86 855 8688888<br>FAX 86 855 8686666<br>凱里市（1泊）                       |
| 5 | 11月22日<br>(土) | 午前<br>14: 35<br>16: 25<br>夕方                         | 凱里から貴陽へ陸路移動<br>南方航空CZ6987便にて貴陽出発<br>海南省三亜到着<br>海南省消防協会歓迎・意見交流会                   | リゾートインタイムサンヤ<br>(三亜湘投銀泰度假酒店)<br>海南省三亜市大東海旅游度<br>假区海花路88号<br>TEL 86 898 88210888<br>FAX 86 898 88213288 |
| 6 | 11月23日<br>(日) |                                                      | 三亜市消防視察<br>中国のハワイといわれる名リゾート地三亜市内視察<br>呉文州島等                                      | 三亜市（2泊）                                                                                                |
| 7 | 11月24日<br>(月) | 午前<br>11: 00<br>12: 05<br>14: 55<br>16: 30<br>18: 30 | 三亜市内視察<br>空港着<br>上海航空FM9538にて三亜出発<br>上海浦東空港着<br>外灘視察<br>上海市消防協会意見交流会             | ブロードウェイマンション<br>ホテル<br>(上海大厦)<br>上海市北蘇州路20号<br>TEL 86 21 63246260<br>FAX 86 21 63241565<br>上海市（1泊）     |
| 8 | 11月25日<br>(火) | 午前<br>10: 30<br>12: 30<br>15: 25<br>13: 20<br>17: 00 | 短い市内視察後、空港へ<br>上海浦東空港着<br>全日空NH156便にて 上海出発<br>関西空港着<br>全日空NH920便にて 上海出発<br>成田空港着 |                                                                                                        |

航空機及び現地事情により、上記日程は変更する場合があります。



三亜市

# 消防団の危険予知訓練（S-KYT）

## ～より安全な消防団活動のために～

消防団員等公務災害補償等共済基金

複雑多様化する災害現場で消防活動にあたる消防団員には、従来以上に安全を確保した活動が重要になっています。そのためには、目に見える危険だけでなく、そこに潜んでいる危険を予知できる教育訓練が必要です。当基金では、これに対応した訓練「消防団危険予知訓練（S-KYT）」を各市町村で実施しています。

### 1 S-KYT研修とは

S-KYTは、消防団活動の一場面を描いたイラストシートを使って、場面に潜む危険と対策を少人数（5～6人）のチーム単位で話し合っ、安全対策を導いていくシミュレーション訓練です。

S-KYT研修では、実技によってこの訓練手法を体験し、消防団向けにコンパクトにまとめたカリキュラムを通して、この手法の習得を目指していきます。

### 2 S-KYT研修において学べる手法

研修の講師は、現場経験が豊富な消防OBを中心としたS-KYT指導員が務めています。初めて体験する団員でも日常の現場で訓練進行ができるようにわかりやすく丁寧に指導していくので、受講団員は、消防団員の安全活動のためのさまざまな手法を学ぶことができます。それぞれの概要は、次のとおりです。

#### (1) 指差し唱和、タッチ・アンド・コール

消防団員一人一人が活動を安全に誤りなく進めるために、作業の要所要所で行う「確認行動」の仕方を習得します。災害現場で冷静な対応を求められる団員には、特に有効な安全行動の一つです。

作業のくぎりにチーム全員で気合いを入れ、「うっかり」、「ほんやり」を防ぐための技法です。それぞれを実行することで、チームとしての一体感・連帯感を盛り上げて、さらに高める狙いがあります。

#### (2) 健康KY

健康KYは、リーダー団員が消防団活動の前にメンバー一人一人に自らの健康状況を自己チェックさせて申告させたり、メンバー一人一人を観察し、具体的に問いかけたりするなど、メンバーの健康状態を把握し、適切な処置を取るための手法です。

#### (3) S-KYT基礎4ラウンド法

S-KYT研修は、チーム全員の話し合いによって、原則、4つのラウンド（実技）を経て進めていきます。

参加メンバー全員が、1枚のイラストシートを使って、それぞれのラウンドで、自由に活発に危険要因やその対策について、互いに意見を出して話し合い、具体的に実践できる安全対策



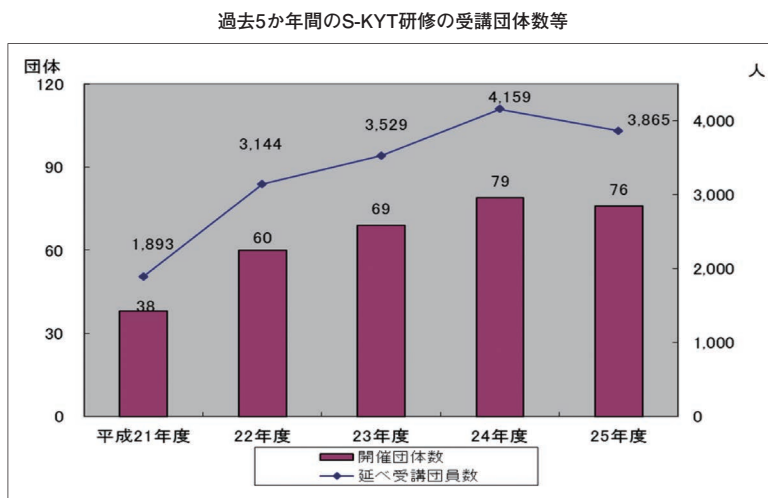
指差し唱和



を導いていく手法です。

### 3 受講団体数の増加

S-KYT研修の受講を希望する団体数は、増加傾向にあり、平成25年度には、4年前の2倍以上の団員が受講しています。この傾向は今後も続くものと思われます。



### 4 S-KYT研修の助成について

基金は、S-KYT研修を開催する団体に対して助成を行っています。その助成概要については次のとおりですので、開催を希望する団体については、まずは基金まで御照会ください。

- ◆ 開催費用の助成  
30万円で講師旅費を加えた額を限度として、開催に要する費用を全額助成
- ◆ 助成対象団体
  - ア 市町村 イ 消防補償等事務組合
  - ウ 一部事務組合消防本部
  - エ 都道府県消防協会 オ 消防団
- ◆ 受講対象者
  - ア 主に部長、班長以上の消防団員
  - イ 市町村又は消防本部の消防団事務担当者
- ◆ 助成対象基準

| 項目          | 内容                        |
|-------------|---------------------------|
| S-KYT研修所要時間 | 4時間（推奨）、3時間、2時間（PR用）      |
| 講師の人数       | 原則2人以上                    |
| 参加消防団員の人数   | およそ30人以上（1開催につき、50人程度を推奨） |

### 5 おわりに

当基金では、公務災害防止のため、S-KYT研修のほか「消防団員安全管理セミナー」「消防団員健康づくりセミナー」「消防団員災害救援ストレス対策研修」を推進しております。詳しくは当基金ホームページで御確認ください。

〈問い合わせ先・申し込み先〉  
消防団員等公務災害補償等共済基金  
<http://www.syouboukikin.jp>  
電話 03-3595-0541 (代)

# 第24回全国消防操法大会 記念Tシャツ販売

販売期限  
11月31日まで

第24回全国消防操法大会が東京で開催されることを記念して、大会記念Tシャツを作成いたしました。バックプリントには、操法大会の開催地「東京」をイメージしたデザインになっております。左胸には「24th」をマルチクロスに合わせ、左袖には操法大会のシンボルマーク、右袖には全日本消防人共済会の火災共済キャラクター「ひまわりしているか」のを入れ消防をアピールしております。今回しか手に入らない限定品となっておりますので、是非記念としてご購入下さい。

BACK

1,500円  
(税込)

- カラー ネイビー/オレンジ
- サイズ S/M/L/XL
- 素材 ポリエステル100%
- 納期 9月3日(水)発送予定\*

※8月19日(火)以降は注文後約3週間



| ネイビー            |                 | オレンジ            |                 | サイズ | 身幅   | 着丈 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----|------|----|
| 商品番号            | 商品番号            | 商品番号            | 商品番号            | S   | 49.5 | 64 |
| <b>S</b> 56120  | <b>S</b> 56124  | <b>M</b> 56121  | <b>M</b> 56125  | M   | 52.5 | 67 |
| <b>L</b> 56122  | <b>L</b> 56126  | <b>L</b> 56122  | <b>L</b> 56126  | L   | 54.5 | 70 |
| <b>XL</b> 56123 | <b>XL</b> 56127 | <b>XL</b> 56123 | <b>XL</b> 56127 | XL  | 57.5 | 72 |

DRY

素材には訓練や活動に最適な、速乾性に優れたポリエステル100%のダブルフェイス生地(表:フラット、裏:メッシュ)のドライTシャツを使用しています。

BACK



FRONT



ご注文は株式会社シグナルOSホームページから  
<http://www.signalos.co.jp/fppc2014.html>  
 TEL: 0120-607-444 9:30~17:30 (土日祝除く)

# 9月1日は防災の日 防災訓練に参加しましょう ～災害に備え、防災知識の向上をめざす～

消防庁 防災課

わが国では、毎年のように地震、台風、大雨などの自然災害が発生し、各地で多くの被害が出ています。なかでも、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、地震と津波等により死者・行方不明者が2万1千人を超える甚大な被害が発生しました。

また、首都直下地震や南海トラフ巨大地震といった大規模地震の切迫性も指摘されています。

さらに、最近では竜巻や局地的大雨、土砂災害による被害が多発しています。

このような状況の下、被害を最小限に抑えるためには、国民一人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけ、いざというときに落ち着いて的確な行動をとることが重要であり、そのためにも、各地方公共団体、企業、地域コミュニティなどで行われる防災訓練に積極的に参加することが望まれます。

防災訓練では、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験など実践的な対応

を経験することにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身につけることができます。また、いつ起きるかわからない地震・津波災害などに対する備えは、常日ごろから防災意識を持って生活することや防災訓練の体験などによって培われるものといえます。

国や地方公共団体では、毎年9月1日の「防災の日」及び8月30日から9月5日までの「防災週間」を中心に防災訓練を行いますので、積極的に参加し、いざという時に対応できる力を身につけましょう。

\*防災訓練の日程は地域によって異なりますので、詳細はお住まいの地方公共団体にお問い合わせください。お問い合わせください。

地域で行われる防災訓練へは、自分の住んでいる地域の方々と共に「いざという時どうするか」という心構えで参加し、家族みんなで防災について話し合いましょう。

## 〈 いざというときの備え確認チェック□✓ 〉

- 非常持ち出し品の準備、避難場所までの順路の確認
  - ・次の物はすぐに持ち出せるように用意しましょう。  
現金、救急箱、懐中電灯、ライター、電池、毛布、食品、飲料水、ラジオなど
- 消火器の正しい使い方などの習得
  - ・消火器は初期消火に有効なので正しい使い方を覚えましょう。
- 正しい情報の入手方法と家族や近隣の人の安否情報を確認する方法を学ぶ
  - ・携帯電話、インターネット、ラジオ、防災行政無線などで正しい情報を入手しましょう。
  - ・毎月1日・15日や防災週間などで災害伝言ダイヤル（171）が体験利用できるもので、使用方法を確認して、いざというときに大切な人の安否情報を確認できるようにしましょう。
- 軽いけがの処置など、協力して行う応急救護の方法を学ぶ
  - ・消防署などで行う救命講習会では、軽いけがの処置をはじめ心肺蘇生法について習得できますので、進んで参加しましょう。
- 地域住民等で協力して行う救出活動の方法を学ぶ
  - ・大規模な災害時には消防車や救急車がすぐに救出に向かえない場合もあるため、身近にあるノコギリ、自動車のジャッキ、バールなどを使用し、建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人を地域のみんなが協力し合って救出できるようにしましょう。
- 避難前の火災防止策の確認
  - ・停電から復旧した時の通電火災を防ぐため、電気のブレーカーを切りましょう。
  - ・ガス漏れによる火災を防ぐため、ガスの元栓を閉めましょう。
- 家具等の転倒・落下防止など、自分たちで事前に備えとしてできることを実行する
  - ・自分の身は自分で守る、自分たちのまちは自分たちで守る、という意識を持って生活しましょう。

総務省消防庁 生活密着情報 「地震などの災害に備えて」をぜひ参考にしてください。

〈リンク先〉 <http://www.fdma.go.jp/html/life/>

## 問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 吉岡  
TEL：03-5253-7525

# 台風に対する備え

消防庁 防災課

日本列島には毎年、主に7月から10月を中心に台風が襲来し、土砂災害や河川のはん濫など、大きな被害が発生しています。

平成25年9月には、台風第18号が日本に接近、上陸し、四国から北海道の広い範囲で大雨となりました。この大雨により、浸水被害や土砂災害による被害もたらされ、死者6名、行方不明者1名、負傷者143名という被害を記録しました。

また、同年10月に発生した台風第26号では、東日本から北日本の太平洋側を中心に大雨となりました。特に東京都大島町では、24時間の降水量が824mmに達するなど記録的な大雨となり、大規模な土砂災害が発生しました。この台風により、死者が40名、行方不明者が3名、負傷者が130名にもなる大きな被害が生じました。



平成25年台風第26号の被災現場（東京都大島町）  
（さいたま市消防局提供）

## 台風による災害

### 〔大雨による災害〕

台風は激しい雨をもたらします。台風やその周辺部では、激しい雨が長時間にわたって降り続くことがあります。また、台風が日本から遠く離れた南の海上にあっても、日本付近にある前線に暖かく湿った空気が送り込まれて大雨となることもあり、河川のはん濫や、がけ崩れ、土石流などが発生して私たちの生活や生命を脅かすようになります。



### 〔暴風による災害〕



台風の周りでは強い風が吹いています。平均風速15～20m/sの風であっても、歩行者が転倒したり、車の運転に支障が出たりすることがあります。さらに強くなると、物が飛んできたり、建物が損壊したりするなどの被害が生じることがあります。

超える電柱が倒れることもあります。また、台風の周辺では大気の状態が不安定になり、竜巻などの現象が生じることがあります。

### 〔高潮・高波による災害〕

台風が接近して気圧が低くなると海面が持ち上げられます。そこにさらに強い風が吹き込んで、大きな高潮災害が発生することがあります。昭和34年に日本に上陸した伊勢湾台風では、名古屋港で通常よりも約3.5mも潮位が上昇するなど、高潮による大きな災害が発生しました。また、台風の強い風によって高波が発生したり、台風が日本から遠く離れていても「うねり」となって日本周辺に高波が押し寄せたりすることがあります。



- ・あらかじめ窓や戸の補強をする
- ・避難する時に必要な非常持出品をまとめておく
- ・家の中で数日間過ごすことができるよう水や食料などの非常備蓄品を準備しておく
- ・避難所の位置や避難所までの道筋を確認しておく
- ・ハザードマップなどで、家の近くの危険箇所を確認しておく

また、災害時の避難において支援を要する方々が迅速・安全に避難できるように、いざという時に誰が支援し、どの段階でどうやって避難するかなど、具体的な避難支援計画を定めておくことが重要です。

### 〔台風が近づく危険性が高まったら〕

台風が近づく危険性が高まったら、常に台風に関する情報や避難に関する情報に注意してください。災害発生時の危険性が高まり、市町村から避難勧告や避難指示などが出された場合には、危険な状態になる前に、すぐに安全な場所に避難しましょう。

強い雨や風などによって市町村からの避難勧告等の呼び掛けが聞き取れないことがあるかもしれません。気象情報等をテレビやラジオなどでチェックし、危険と思われる場合は速やかに避難することが重要です。

また、浸水や暴風雨により避難所までの歩行等が危険な状態になった場合には、自宅や隣接する建物の上部階へ緊急的に避難する、崖から離れた側の部屋に移動するなど、安全を確保するため、臨機応変な対応をとる必要があります。



| 台風の強さ | 最大風速           |
|-------|----------------|
| 強い    | 33m/s以上44m/s未満 |
| 非常に強い | 44m/s以上54m/s未満 |
| 猛烈な   | 54m/s以上        |

| 台風の大きさ | 風速15m/s以上の半径   |
|--------|----------------|
| 大きい    | 500km以上800km未満 |
| 非常に大きい | 800km以上        |

台風の強さと大きさの階級分け（気象庁資料より）

## 台風に対する備え

### 〔日頃からの備え〕

家庭においては台風に向けて、次のような準備を十分にしておきましょう。

### 問合わせ先

消防庁国民保護防災部・防災課 山本  
TEL：03-5253-7525

# 消防団員に対する「サイコロジカルファーストエイド (PFA)」取得研修を実施

奈良市消防団 団長 川崎 政信

平成26年7月27日(日)奈良市消防局におきまして、奈良市消防団員を対象にWHO版の心理的応急処置「サイコロジカルファーストエイド (PFA)」研修を、独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター様の全面協力を賜り実施しました。

この研修は、被災者と早期に接する消防団員が、深刻な危機的出来事に見舞われた人々にどのように声をかけたり、何に気をつけて接したらよいかを災害時こころの情報支援センター研究員の大滝先生、小見先生から、シミュレーションやロールプレイングを活用した講義を受講しました。

今後、心理的応急処置 (PFA) を取得した消防団員 (特に女性消防団員) が、早期に被災者、バイスタンダーに寄り添うなどの適切な接遇・支援を行い、地域の医療機関への橋渡しができるなどの、関係機関との連携が円滑に行えるよう教育訓練を実施していきます。



講義



講師 (左から大滝先生、小見先生)



避難所を想定した訓練  
(避難所の開設から被災者対応)



ロールプレイ  
被災者 (子ども) へのケア  
(左 被災者の子供役、右 支援者役)



グループに別れての課題討議



グループ毎の発表

# 「視察研修を実施」

桐生市消防団 団長 田代 勲



## 1 桐生市の紹介と消防団の沿革

我が街を紹介します。桐生市は関東平野の北部に在り、日本地図で見ると緑と茶色の境目あたりに位置しています。今では平凡な地方都市ですが、昔は京都西陣と並び称されるほどの、絹織物の産地でありました。周囲を山で囲まれた市域には、桐生川と渡良瀬川が流れ、水と緑に囲まれた自然豊かな環境から、過去には文人墨客が移り住んだほどです。

団の歴史を紐解きますと、明治9年に整備された消防連が、昭和22年10月10日に結団式を挙行し、幾つかの変遷を経て現代の形となり、18に区分された分団は、一世紀を超えて我が街を守り続けてまいりました。

平成17年6月13日の町村合併で、私の出身地黒保根村と新里村が新たに加わって市域を2倍に広げたため、現在では、団本部と26の分団が郷土を守っています。



林野火災訓練前の団長訓示

## 2 消防団の活動

全国消防団の共通行事といえば、秋季点検と年明けの出初式が第一に挙げられると考えますが、桐生の消防団では、近隣消防団が11月の初旬に行う秋季点検を、2ヶ月早めて実施する特徴があります。これは洪水に備えるため、秋の台風シーズン到来前に、水防訓練を兼ねて実施するものであり、各方面団に分かれて、積み土嚢、シート張り、せき板、月の輪、など、出水箇所に合わせて工法を実施。年毎に担当替えて訓練を重ねております。

また、春と秋の火災予防運動期間中には、地元婦人消防隊と協力して、戸別訪問による防火の呼びかけや、住宅用火災警報器の普及啓発など、地域に則した活動を実施しております。

さらに、黒保根地区では、管轄内に桐生市の最標高地点となる赤城山黒檜山頂



林野火災訓練

(1,828m) など、深い山を擁しているため、方面団を挙げて山林火災訓練を盛んに行っております。

### 3 団本部視察・研修について

団本部では、団幹部が消火技術や災害に対する見識を更に広めて、団活動等に反映するため、毎年視察・研修を実施しております。昨年度は三年越しの念願がかない、東日本大震災の被災地三陸地方へ、視察を兼ねた慰霊をすることが出来ました。

慰霊塔に近づく道すがら周囲の風景を見回すと、取り残されたような家の基礎と、根までが持ち上がった防風林が、被害の大きさと復興の遅れをものごたり、万感胸に迫る思いで香華を手向けました。

私たちと心を同じにする消防団員が、迫りくる津波の前に最後まで避難を呼びかけて、自らも津波の犠牲となった話は当時から耳にしていますが、被災地に立つと、改めてその崇高な使命を感じ、一同の気持ちが引き締まりました。

### 4 終わりに

安心安全の街づくりは、全国的に掲げられているスローガンですが、その最前線で活躍するのは、



三陸地方への視察と慰霊

地元貢献を目的とする消防団であると自負しております。

しかしながら、意気込みとは裏腹に活躍する消防団員の不足も、全国的な共通問題です。

これからも、消防団は地域のコミュニティー活動へ積極的に参加し、人間関係を密にして、団員確保と安心安全な街づくりに貢献することを目指します。



慰霊塔への献花

うちの

# 名物団員



宇城市消防団 不知火方面隊 第7分団第2部第1班 団員

西村 栄敏



不知火方面隊副隊長（副団長）を務められた西村団員は、地元班に戻り現在も団員として日々精力的に活動されていますが、その映像撮影・編集の腕前は団員で右に出る者はなく、小型ポンプ操法の訓練用DVDの作成など、数々の作品が生まれています。特に操法県大会当日の編集映像では、選手

が涙を流すほどの完成度です。

息子さんも団員として活動されており、日頃は親子で造園業を、非常時には親子で団活動にあたられており、他の団員の模範であります。



熊本県

鹿沼市消防団第2分団 支援団員

稲葉 重次

鹿沼市消防団の名物団員、稲葉重次<sup>しげじ</sup>団員。趣味はサバイバルゲーム。所有しているコスチュームは、陸海空の軍服から甲冑まで豊富なバリエーション。今回は、零戦の特攻隊仕様で登場していただきました。装備は、救命胴衣、縛帯、航空時計、半長靴、特攻隊の帽子、手袋、ひと際目立つ純白の



マフラー、腰にはエアークンのフル装備です。「和」を大切にしている有志結成のサバイバルゲームチーム「丸友会・玉田連合」に所属し、サバゲーを楽しみながら、消防団活動にも積極的に参加しています。持ち前の行動力と明るさで、所属分団員に慕われており、一度退団しましたが、周りからの強い要望により支援団員として復活し、地域住民のために活躍しています。



栃木県





## 向日市消防団 第6分団 団員

森山 佳之

20歳で消防団に入団し、分団長を経験され、24年目を迎える森山佳之さんを紹介します。

仕事は農業に従事され、有志による農業研究会に所属し、地域農業に取り組む、行動力のある会長さんでもあります。

向日市では、「京都向日激辛商店街」という町おこしの活動が行われ、ジョロキアやスコピオンといった辛い唐辛子の栽培を委託されたり、農商工連携では、地元産の茄子を使った和菓子の試作や、小松菜を使ったプリン、ゆずの焼き菓子など、商品の開発にも協力をされています。

農業を通じて地域活性化につながる農商工連携の実現とともに、地域に根差した消防団活動にも力を注いでもらっている頼もしい方です。



## 塙町消防団 副団長

藤田 芳雄

塙町消防団の名物副団長、藤田芳雄さんを紹介します。

消防団歴30年の藤田副団長は、団長の右腕として手腕を振るう傍ら、地元で活動している『奥州植田白砂太鼓ぼちの会』の代表として、太鼓の撥も振っています。町の産業祭への出演のみならず、温泉地の旅館から演奏の依頼を受けるなど

活発的な活動をしております。また、地元防犯協会の支部長を務めるなど、地域になくてはならない存在でもあります。

塙町の「安全・安心・芸能文化」を守るため、今日も藤田副団長の活動は続きます。



## 名古屋市稲葉地消防団 団員

小原 誠

名古屋市からは、小原誠団員を紹介します。入団のきっかけは、その朗らかな性格とまじめな仕事ぶりに角田稲葉地消防団長が一目ぼれし、猛烈なアタックを受けてのこと。今は、消防団員であることに誇りを感じています。普段は、工作機械部品製造会社の経営者として、高い旋盤技術でどんなに難しい注文にも応えてしまいます。また、趣味は多彩で、ゴルフ、テニス、スキー…と、何にでも積極的にチャレンジし、休日も忙しくも楽しく過ごしています。

今年10月の消防団ポンプ操法発表会では、稲葉地消防団の1番員として、チームの中心的存在。『他の消防団には絶対負けたくない!』と気合いも十分です。『小原団員は我が団のムードメーカーであり、彼には絶対的な信頼を置いています。』と角田団長からも一言。オールマイティーな逸材として貴重な存在です。

# 消防団の広場

福島県

## 地域の「安全・安心」を目指す埴町消防団



埴町消防団  
団長

木田 廣明



まず始めに。平成23年3月11日に発生しました東日本大震災以降、全国の各消防機関、消防団の皆様には、被災地である福島県へご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

埴町は、昭和23年の町制施行以降、昭和30年までの市町村合併により常豊村、笹原村、石井村、高城村が合併して現在の町となりました。福島県の南東部に位置しており、東の阿武隈山系、西の八溝山系の山々に囲まれた緑豊かな町です。また、阿武隈山系を水源とした川上川、渡良瀬川と八溝山系を水源とした久慈川が町を南北に縦断しており、温暖な気候と強固な地盤に恵まれた町です。

埴町消防団は、本団と5分団24班で編成されており、条例定数410名（現在の団員数は団長以下386名）の消防団員で構成されています。町の人口が現在9,556人に対して、町の面積は211.6km<sup>2</sup>もあり、山間部が東西に広がっているため、火災に対する消防団員の活動も広範囲となっています。このような中、団員が



一糸乱れぬ規律訓練

町内各戸への火防督促診断を行うなど予防活動を重点におき、また、夏に行われる流灯花火大会等への運営協力や各地区の行事に団員が積極的に参加するなど、地域に密着した団活動を目指しています。

少子高齢化による団員数減少は当消防団でも例外ではなく、団員の確保が重要課題となっております。火災のみならず、近年の災害でみられる予測できない局地的な災害から私たちの家族、近所、住民を守るため、『自らの地域は自らで守る』という使命のもと、団活動を通して住民の皆様のご理解をいただき、これからも魅力ある、地域の方々に信頼される『埴町消防団』を目指して、なお一層の活動・訓練に励みます。



東北初。ひまわりしているか



埴町消防団ポスターコンクール。  
24班が作成した中で最優秀に輝いた作品

平成26年度 全国統一防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

## 9月の日本消防協会関係行事

|                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| 9月10日(水) (午前)   | 全国消防殉職者遺族会理事会                  |
| 9月11日(木) (午前)   | 第33回全国消防殉職者慰霊祭                 |
| 9月11日(木) (午後)   | 日本消防協会役員会議(正副会長会議、理事会)         |
| 9月16日(火)~20日(土) | CTIF年度総会(セルビア)                 |
| 9月下旬            | 消防育英会理事会                       |
| 9月29日(月)        | 女性消防団員国際会議・CTIF女性消防ワーキンググループ会議 |

## 編集後記

強烈な直射日光、アスファルトからの照り返し、熱帯夜と、日本中がヒートアイランド化したかのようですが、身の回りには、快適な生活を送るためのアイテムとして、エアコンはもちろんのこと、冷感スプレーの類から、涼しくて快適な素材の服など数多く存在しています。しかし、体の冷やし過ぎや冷たい飲み物等の過剰摂取は夏バテ予防の逆効果になり兼ねません。

皆様も、文明の利器だけに頼らず、夏野菜等をしっかり食べ、夏バテ予防に努めていただきたいと思います。

さて、8月は帰省に合わせ、祭りなどの行事を行う地域が多いと思います。その行事の際には必ずといっていいほど消防団が警戒等の活動を行なっているものと思います。隅田川大花火大会でも、消防団員の方が観客に「団扇をどうぞ」とさりげなく配りながらも、しっかりと見回りをしてくださっておりました。地域に溶け込み、しっかりとその行事を支えてくれている消防団に感謝しつつ、熱中症や事故などないようにと願う日々であります。(T.S)

## お詫びと訂正

日本消防7月号掲載「名物団員」45ページの兵庫県豊岡市日高消防団の写真紹介の表記に誤りがございましたので、関係各位の方々に対しまして深くお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

正…左から武志さん、成紀さん、圭亮さん 誤…右から武志さん、成紀さん、圭亮さん

## 購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,448円

(問合せ先) 総務部企画担当 03-3503-1481

## 寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十七巻第八号  
平成二十六年八月五日印刷  
平成二十六年八月十日発行

編集人 生嶋 文昭

発行所 (財)日本消防協会  
東京都港区虎ノ門二丁目九番十六  
電話 〇三(3503)一四八二(代)

印刷所  
東京都文京区湯島三丁目二十一番十二  
日本印刷株式会社  
電話(3833)六九七一(代)

生活協同組合 全日本消防人共済会

# 「火災共済金は1500倍補償」

## B型火災共済

加入口数5口500円から25口2,500円まで  
掛金25口2,500円で最高375万円の共済金

## C型火災共済

加入口数最高200口20,000円まで  
最高限度額掛金200口20,000円で最高3,000万の共済金  
※共済への加入にあたり、組合員となっていたためのお出資金が別途必要となります。



### 共済金のお支払い対象 B型・C型共通

火災共済金：火災、落雷、爆発・破裂

風水雪害等共済金：風災、水災、雪災、車両飛び込み、航空機墜落

所在地 東京都港区虎ノ門 2-9-16  
日本消防会館 6階

連絡先 TEL 03-3503-1439

FAX 03-3503-1480

E-Mail: kyousaikai@nissho.or.jp

URL: <http://www.shouboujin.or.jp>

## 消防個人年金

消防個人年金は、将来の自分の為の積立年金制度で、(公財)日本消防協会が第一生命保険株式会社と締結している拠出型企業年金です。

### 消防個人年金を紹介します

- 1 予定利率は**1.25%**です。
- 2 **月払、半年払、月払と半年払の併用**から払い込み方法をご選択頂き、**掛金1万円**(ゆうちょ銀行は5千円)からご加入頂けます。また、まとまった資金を**一時払**することもできます。
- 3 年金は、**年4回**で受給して頂けます。
- 4 **退団・退職後も継続**できます。



そのほか詳しくは、ホームページをご覧ください。